



発行所 財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 岡山 巧
定価 1部金44円

平成十七年春の叙勲 県下から消防功勞により十四名が受章

平成十七年春の叙勲が四月二十九日(みどりの日)に発令されました。

消防関係の受章者は、全国で四五〇名、うち兵庫県では、元消防団・職員十四名が榮譽に輝きました。

受章された方々は、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災をはじめとする各種の災

害から防護するとともに、消防力の強化・拡充に尽力し、社会公共の福祉の増進及び業界の発

展に寄与された消防関係の方々です。

伝達式は、五月二十四日(火)十二時四十分から東京・虎ノ門の日本消防会館内ニッショーホールで執り行われ、各代表者に叙勲が伝達されました。



叙勲伝達式

あなたです
火のあるくらしの
見はり役



〈兵庫県下受章者(消防功勞)〉
◎瑞宝双光章
元神戸市西消防団
団長 木村 忠夫

〈全国消防関係受章者数〉
旭日小綬章 一名
瑞宝小綬章 八名
旭日双光章 二名
瑞宝双光章 一四七名
瑞宝単光章 二九二名
計 四五〇名

元揖保川町消防団
団長 竹田登美生



元猪名川町
消防監 谷口 一昭



◎瑞宝単光章
元神戸市北消防団
副団長 芝田 昌憲



元姫路市網干消防団
団長 大塚 直哉



元尼崎市消防団
分団長 大野 悟



元西宮市消防団
分団長 大畑 五郎



元豊岡市消防団
分団長 秋山十三生



元龍野市消防団
副団長 進藤 公



元高砂市消防団
副団長 砂川 弘



元波賀町消防団
団長 津村 光次



元生野町消防団
副団長 安東 政士



元市島町消防団
団長 荻野 勝利



元淡路町消防団
分団長 坂本 進



平成十七年春の褒章

平成十七年春の褒章が四月二十九日(みどりの日)に発令されました。

◎藍綬褒章
神戸市須磨消防団
団長 黒江 博



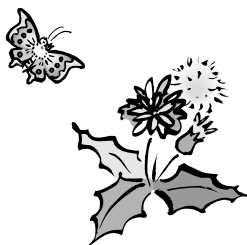
伊丹市消防団
団長 岸谷 義雄



南光町消防団
団長 塩崎 幸夫



消防団員として永年にわたり消防防災活動に献身的に尽くされ、消防の発展に大きく寄与された方々に授与される藍綬褒章は全国で五十五名、うち兵庫県では、三名が受章の榮譽に輝きました。
伝達式は、五月二十七日(金)十三時十分から東京・霞ヶ関の総務省講堂で執り行われ、消防庁長官から褒章が伝達されました。



褒章伝達式

姫路市姫路西消防団 団長

金澤 孝



姫路西消防団は、世界文化遺産「姫路城」の北西一帯を管轄し、西国二七番札所である書写山門教寺を北に望む風光明媚な地域に位置し、面積八八・七六平方キロ、人口十四万一、一三一人の生命・身体・財産を守っています。

さて、我が消防団の沿革は昭和四四年四月、従来の一市一団制が一市四団制となった時、姫路西消防団が十二分団で発足しました。

その後、分団名の改名、分団分離を経て、昭和六二年十月、「姫路市非常備消防の適正規模、適正配置」実施計画により定員五五七人となりました。

私が入団して間もない頃、姫路中央卸売市場で炎が発生し、長時間燃え続けました。

長時間の放水活動で体は疲労困憊、筒先をくくりつけて放水したことが思い出されます。

我が消防団員の任務は「火消し」であります。これは絶対的なものですが、今では、水防活動をはじめ、消防操法、応急手当普及指導員講習、自主防災組織の育成指導など、市民の消防団に対するニーズの変遷とともに、活動範囲も拡大しています。

最後にになりましたが、阪神・淡路大震災から十年を迎え、益々消防団に対する期待は高まっています。それに応えるためにも、日々の訓練を行い、来たるべく災害に備えてまいります。

消防団今昔

40

淡路市消防団長

井筒 良夫



淡路市消防団は、津名郡五町(津名町、淡路町、北淡町、一宮町、東浦町)が平成十七年四月一日に合併、それに伴い消防団も合併し誕生しました。

組織としては、団員総数一、九一八名で、団長以下、各地区を担当する地区団長五名、副団長一六名、二五分団で組織されており、ポンプ自動車八台、小型動力ポンプ付積載車八七台を配し、有事の際の出動に備えています。

防団に入団し、常に消防の重要性を深く認識し、自覚と責任感と消防人としての誇りを胸に努めてまいりました。

その間数多くの火災や風水害に出動しましたが、民家火災では火は勿論のこと、新建材の煙の怖さ、類焼を如何に防ぐか、また、山林火災では、火先を担当していたとき、前も後ろも飛び火で囲まれたが、幸い水が出ていたので、逃げ道を作りながら消火した事などの思い出もありますが、火災での消火作業では、「雲の流れ」「風の向き」「風の強さ」など、とっさの判断力が指揮命令を行う上で如何に大切かを学びました。

また、生涯忘れることのできないのが平成七年に発生した阪神・淡路大震災です。「まさか淡路島に地震が起こるとは」誰もが予期せぬ出来事でした。

地区通信

「気合十分」

西宮市消防操法大会

西宮市消防団

「放水はじめーっ」

まだ寒さの残る武庫川河川敷において、元氣一杯な消防団員の声が響きわたる。

そう、今年も恒例となった、動をはじめ、消防操法、応急手当普及指導員講習、自主防災組織の育成指導など、市民の消防団に対するニーズの変遷とともに、活動範囲も拡大しています。

西宮市消防操法大会が三月二十日に開催されました。今年で第十二回を迎えた大会は、各地区で選抜された七分団、三五名の出場団員が参加し、日々鍛錬された火消しの技を数多く披露しました。

西宮市では、毎年九月頃からこの大会に向け、各地区の消防団と所轄の消防署が一体となり、ポンプ操法訓練を実施します。

我々、姫路西消防団員五四五人は、地域防災のリーダーとして「安全安心の街づくり」を目指し、常備消防と一体となって市民の負託に応えていく所存です。

当日は西宮市長の激励をはじめ、各市関係者、消防団OB、出場団員の家族及び友人等約四〇〇名が応援に駆けつけ、熱い声援を送りました。

この大会に向け、各地区の消防団と所轄の消防署が一体となり、ポンプ操法訓練を実施します。

最後にになりましたが、阪神・淡路大震災から十年を迎え、益々消防団に対する期待は高まっています。それに応えるためにも、日々の訓練を行い、来たるべく災害に備えてまいります。

この震災で得た貴重な体験、教訓、反省点を生かし、「自分たちの地域は自分たちで守る」を合い言葉に、地域住民が安全で安心して暮らせる町づくりに取り組み、住民の方々に一層信頼され、愛される消防団になるよう日々努力を続けてまいります。

西宮市では、毎年九月頃からこの大会に向け、各地区の消防団と所轄の消防署が一体となり、ポンプ操法訓練を実施します。

西宮市では、毎年九月頃からこの大会に向け、各地区の消防団と所轄の消防署が一体となり、ポンプ操法訓練を実施します。

最後にになりましたが、阪神・淡路大震災から十年を迎え、益々消防団に対する期待は高まっています。それに応えるためにも、日々の訓練を行い、来たるべく災害に備えてまいります。



勢よく放水する消防団員



「さあ、操法開始だ!!」

「優しさを忘れない 団長さん」

神戸市 長田消防団 濱寄 爲司 団長



「わがまちの団長さん」 出動指令、長田管内・・・というこ

さらなる組織の活性化と団員の育成強化に取り組んでおられま

天気の良い日には奥様とお二人で散歩したり、家族に対する優



「消防と虎に 全力投球」

揖保川町消防団 嶋津 昌朗 団長



揖保川町は兵庫県の南西部に位置し、清流揖保川と深い緑を

をもって事に当たり、消防団の育成発展・充実強化に努められ

また、私生活では、熱狂的な阪神ファンで六甲おろしを歌わ

嶋津団長は昭和三十六年に入団され、平成六年から平成十六年

な判断により団員を指揮し、被害を最小限に食い止めたほか

今月の十月には市町合併を控えておりますが、今後も揖保川

わがまちの団長さん

124



消 防 団 服

- 甲種 日毛・帝人・東レ団服・作業服・制帽
乙種 刺子・木綿
ハッピー・ズボン・腹掛・革バンド
附属品一式

キンバイホース 兵庫県特約店

株式会社 三 浦 消 防

姫路市竜野町1丁目1番地
電話 (姫路) 92-0447
(0792) 98-8663

美と力を備えた
新しいテクノロジーが
社会と暮らしを守り続けます。

安心を科学する
モリタです。

株式会社モリタ

本社 〒544-0003大阪府生野区小路東5丁目5番20号
TEL06(6756)0119 FAX06(6756)3473
東京・大阪・名古屋・仙台・福岡・富山・松山



兵 庫 県 知 事 選 挙

兵 庫 県 議 会 議 員 再 選 挙

(神戸市東灘区選挙区)

兵 庫 県 議 会 議 員 補 欠 選 挙

(神戸市垂水区・尼崎市選挙区)

投 票 日 7 月 3 日 (日)

投票時間 午前7時～午後8時 (一部の地域を除く)

投票日当日、仕事、買い物、レジャーなどの予定がある方は、
期日前投票をすることができます。
手続きはカンタンです (理由に○をつけるだけ)。

【期日前投票のできる期間】

6月17日(金)～7月2日(土)

(県議会議員再選挙・補欠選挙は、6月25日(土)～7月2日(土))

- ※ 体のご不自由な方は、付き添いの方と一緒に投票所に入ることができます。
※ 投票所入場券がなくても、本人であることが確認できれば投票することができます。
詳しくは、住所地等の市区町選挙管理委員会へお問い合わせください。

みなさんそろって投票しましょう!!

地区通信

「合併後はじめての消防大会」

養父市消防団



平成十六年四月一日に養父市が誕生してちょうど一年が経ち、平成十七年四月三日、合併後はじめての消防大会「平成十七年養父市消防大会」が養父市役所本庁舎周辺で行われました。この日は、養父市消防団員および養父市消防本部職員が約五四〇名参集し、分列行進、式典、救助訓練および一斉放水を行い、安全で安心して暮らせるまちをめざして新年度のスタートをきりました。

梅谷馨市長や片岡稔消防団長が見守る中、参集した団員並びに消防車輛が市役所駐車場で整然とした分列行進を行った後、八鹿文化会館で式典を行いました。

式典では片岡団長が、「昨年、大きな被害をもたらした台風災害での水防活動をはじめ、地域の安全を守るのは我々消防人です。これからも事故のないようご尽力いただきたい。」と訓示をしました。その後、功績のあった団員に対して市長から感謝状・表彰状の授与、消防庁長官などからの表彰伝達が行われました。

式典後、消防本部職員による救助訓練が市役所庁舎を使用して行われました。

この訓練は、養父市を震源とするマグニチュード七の地震が発生したことを想定して行われ



たもので、損壊した市役所内の取り残された人を、ロープ射出機とはしごを使い素早く救出しました。

最後は、八木川河川敷に会場を移し一斉放水を実施しました。消防団各方面隊の代表が、息を合わせて四色のカラー放水を行い、消防防災活動への気持ち新たにしていきました。

北から南から

「ヒマワリの里」

南光町消防団

南光町は、兵庫県の南西部にあつて、面積は四九・九平方キロメートルで、南北約二二キロメートル、東西四キロメートルとさわめて細長い、約八十キロを山林が占める町です。

中央を南北に全国名水百選に選ばれた清流「千種川」が流れ、大小の支流ともあわせてすばらしい自然の宝庫です。北部の船越山一帯は国定公園に指定され、樹齢五〇〇年の船越杉など貴重な動植物が生息しています。

（ここには、神亀五年（七二八）二月聖武天皇の勅願により、行基が開創したと伝えられる船越山瑠璃寺があります。

瑠璃寺には、大正三年に国宝の指定を受けた「絹本着色不動明王二童子像」と、近年、国の重要文化財に指定された「木造不動明王坐像」。このほか、5点の県指定文化財があるなど鎌倉時代から江戸時代にわたる絵画や彫刻等の文化財が数多く残る名刹です。

これ以上の文化財では、国重要民俗文化財に指定されている「上三河の舞台」があります。かやぶき入母屋造の建物で、回り舞台や小屋裏回転機構など全国的にも珍しいものが備えられ、昭和五十年に指定されたものです。この舞台を活用しようと、小中学生による子ども歌舞伎が行われ、二年毎に舞台を公開しての公演が行われます。

また、平成二年に水田の転作物の一環として四輪栽培したヒマワリが一躍脚光を浴びたことにより、栽培面積も増やし現在約三十畝、一五〇万本を栽培するまでになっています。咲かすだけでなく種の利用しようと食用ヒマワリを栽培し、町直営の加工場でヒマワリ油を抽出し、油を利用した商品のドレッシング、アイスクリーム、ボディソープなどの特売品を販売し好評を得ています。

「ひまわりまつり」としてのイベントは毎年趣向を凝らし、開花期間中は京阪神及び中国四国地方から十五万人の観光客が訪れます。本年は七月十六日から三十一日の期間に開催されます。

真夏の中の一面のヒマワリ畑は、黄色い絨毯をしきつめたような風景は見事なものです。

南光町は、兵庫県の南西部にあつて、面積は四九・九平方キロメートルで、南北約二二キロメートル、東西四キロメートルとさわめて細長い、約八十キロを山林が占める町です。

中央を南北に全国名水百選に選ばれた清流「千種川」が流れ、大小の支流ともあわせてすばらしい自然の宝庫です。北部の船越山一帯は国定公園に指定され、樹齢五〇〇年の船越杉など貴重な動植物が生息しています。

（ここには、神亀五年（七二八）二月聖武天皇の勅願により、行基が開創したと伝えられる船越山瑠璃寺があります。

瑠璃寺には、大正三年に国宝

の指定を受けた「絹本着色不動明王二童子像」と、近年、国の重要文化財に指定された「木造不動明王坐像」。このほか、5点の県指定文化財があるなど鎌倉時代から江戸時代にわたる絵画や彫刻等の文化財が数多く残る名刹です。

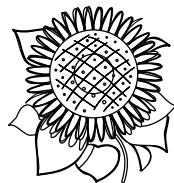
これ以上の文化財では、国重要民俗文化財に指定されている「上三河の舞台」があります。かやぶき入母屋造の建物で、回り舞台や小屋裏回転機構など全国的にも珍しいものが備えられ、昭和五十年に指定されたものです。この舞台を活用しようと、小中学生による子ども歌舞伎が行

われ、二年毎に舞台を公開しての公演が行われます。

また、平成二年に水田の転作物の一環として四輪栽培したヒマワリが一躍脚光を浴びたことにより、栽培面積も増やし現在約三十畝、一五〇万本を栽培するまでになっています。咲かすだけでなく種の利用しようと食用ヒマワリを栽培し、町直営の加工場でヒマワリ油を抽出し、油を利用した商品のドレッシング、アイスクリーム、ボディソープなどの特売品を販売し好評を得ています。

「ひまわりまつり」としてのイベントは毎年趣向を凝らし、開花期間中は京阪神及び中国四国地方から十五万人の観光客が訪れます。本年は七月十六日から三十一日の期間に開催されます。

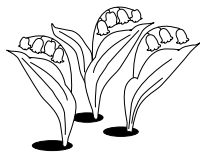
真夏の中の一面のヒマワリ畑は、黄色い絨毯をしきつめたような風景は見事なものです。



すがすがしい風が、青葉若葉を揺らす季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今月号では、平成十七年度春の叙勲・褒章について掲載しております。また消防団今昔には姫路市姫路西消防団長金澤孝さん、淡路市消防団長井筒良夫さんより寄稿いただきました。厚くお礼申し上げます。

なお、今年度の「兵庫消防」の編集は引き続き高見と新しく関戸、市米が担当となります。よろしくお願致します。



編集後記

世界へ羽ばたく!

GMの消防自動車

大槻ポンプ工業株式会社

●本社・営業本部
〒623-0021
京都府綾部市本町7丁目67-2
TEL (0773) 42-0681 (代)
FAX (0773) 42-9229

吉谷式消防ポンプ自動車

営業品目

屈折梯子付消防ポンプ自動車	消防救助工作車
化学消防ポンプ自動車	小型ポンプ積載車
水槽付消防ポンプ自動車	シバウラ小型動力消防ポンプ
普通型消防ポンプ自動車	各種消防用品
高発泡機付消防自動車	消防用ホース

株式会社 吉谷機械製作所

本社・工場 鳥取市古海356の1
TEL (0857) 23-2211(代)
FAX (0857) 27-1766